

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和2年12月11日 報告者：片井 明子

行事種別	研究会	行事番号	200003252
開催日	令和2年11月14日(土)～11月27日(金)		
時 間	開 始	—	終 了
場 所	Web 配信 (Web 録画)		
テーマ	輸血業務を学ぼう～基礎&困った時の対応(聞き方、伝え方)～		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点 (e-learning に回答した愛知県会員にのみ付与)		
司 会	安城更生病院 山本 善之		
講 師	講 演 1 : 血液型編- 藤田医科大学 松浦 秀哲 講 演 2 : 交差適合試験編 名古屋第一赤十字病院 村上 和代 講 演 3 : 不規則抗体編 JA 愛知厚生連 江南厚生病院 原田 康夫 講 演 4 : 製剤管理編 愛知医科大学病院 片井 明子		
内 容	輸血業務について、検査や製剤管理の基礎的な内容を中心に、わかりやすく血液型、交差適合試験、不規則抗体と製剤管理に各項に分けて Web 配信で実施した。実際に遭遇する異常反応や緊急輸血の対応など、少し踏み込んだ内容も扱い、新人や輸血部門に異動された方、日当直のみ輸血業務に関わる方のみでなく輸血業務のトレーニング担当の方などを対象とした。アンケートでは Web で繰り返し聞くことができ、概ねよく理解することができたと、幅広い年代より回答があり、各施設で活用していただける内容であったと思われる。申し込みは 243 名で、レポート提出は 163 名であった。		
参加者	総数：243 名 (レポート提出：163 名 会員 156 名、県外会員 5 名、非会員 0 名、賛助会員 2 名、学生 0 名)		
共催、後援など	特になし		

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和3年1月6日 報告者：片井 明子

行事種別	講演会	行事番号	200003544	
開催日	令和2年12月12日(土)			
時間	開始	—	終了	—
場所	Web配信(Webライブ)			
テーマ	輸血療法の実施に関する指針、赤血球型検査ガイドラインの変更に伴う最近の輸血業務			
生涯教育履修点数	専門教科 20点 (e-learning に回答した愛知県会員にのみ付与)			
司会	愛知医科大学病院 片井 明子			
講師	<p>講演 1 : 輸血療法実施に関する指針の一部改正に伴う業務の変更点 JA 愛知厚生連 江南厚生病院 市川 潤</p> <p>講演 2 : 赤血球型ガイドラインの改訂(案)に伴う業務の変更点 日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センター 加藤 静帆</p> <p>特別講演: 今の輸血は安全か? 感染症を中心に 愛知医科大学病院 輸血部教授 加藤 栄史</p>			
内容	<p>令和2年3月31日付で「輸血療法の実施に関する指針」の一部が改正され、輸血前後感染症検査の在り方が変わりました。また、輸血業務を行う上で重要となる赤血球型検査ガイドライン(改訂第3版)が公開されました。指針やガイドラインの変更により、どのように業務を変更すべきか検討されている施設もあると思います。今回は、指針・ガイドラインのポイントや業務の変更点をそれぞれ2人の講師より具体例をあげわかりやすく解説していただきました。特別講演では、加藤教授に輸血後感染症検査の在り方が変更になった経緯や背景について、HBV、HCV、HIVの輸血後感染症を中心にお話いただきました。今年輸血後感染症検査は全例から必要がある時のみ実施することへ、全く真逆な考え方が学会から示されましたが、NAT検査導入時と現在までの輸血後感染症について発症例や検査法などについてのお話で、経緯を理解できることができ有意義な講演会でした。今回の講演会はWebライブで行いましたが、多くの方に視聴していただき、質問もその場で受けることもできました。アンケートでは臨場感はあってよいという意見がある一方Webで繰り返し聞きたかったという意見もありました。</p> <p>申し込みは142名で、視聴者は最高109人でした。</p>			
参加者	<p>総数：142名(申し込み会員137名、県外会員4名、非会員0名、賛助会員1名、学生0名) レポート提出：89名(愛臨技会員88名、県外会員1名)</p>			

共催、後援など	特になし
---------	------

2021.1.6

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和3年3月12日 報告者：片井 明子

行事種別	研究会	行事番号	200005625
開催日	令和3年2月13日(土)～2月26日(金)		
時 間	開 始	—	終 了
場 所	Web 配信 (Web 録画)		
テーマ	精度管理報告会～輸血検査の内部・外部精度管理を再考しよう～		
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点 (e-learning に回答した愛知県会員にのみ付与)		
司 会	半田市立半田病院 森本 奈津代		
講 師	講 演 1 : 2020 年度精度管理報告- JA 愛知厚生連 安城更生病院 山本 善之 講 演 2 : 消去法について 愛知県がんセンター 早川 英樹 講 演 3 : 実践！輸血検査の精度管理 富山大学附属病院 道野 淳子		
内 容	<p>講演 1 では、2020 年度の愛知県精度管理調査報告及び輸血検査の現状や検査上注意を要するポイントまた設問等の解説をしました。講演 2 では、2020 年度の精度管理調査において愛知県内の施設で回答が分かれた不規則抗体同定の消去法の考え方について、わかりやすく解説しました。そして、講演 3 では、中部圏支部において、長年、輸血検査をリードしてこられた道野先生に輸血検査の精度管理について、ISO の観点からも、ご講演いただきました。</p> <p>WEB 録画での開催でしたので、県内のみでなく県外からの参加者もあり、愛知県精度管理事業について県全体での技術向上に励んでいることが伝わったとアンケートへ感想をいただきました。</p> <p>Web 録画は、自分の好きな時間に、繰り返し見ることができ理解を深めることができ、有意義な研究会でした。</p> <p>申し込みは 100 名で 76 名のレポート提出がありました。</p>		
参加者	総数：78 名(会員 75 名、県外会員 1 名、非会員 0 名、賛助会員 2 名、学生 0 名)		
共催、後援など	特になし		

2021.3.12